

輝く 恵那人

250人目



岩村町

小坂 太一さん (43歳)

□プロフィール

令和7年4月、恵那トビはしご登り隊の隊長に就任。同隊に所属するまではボルダリングに週3回通っており、「体を動かすこと、上に登ることが好き」と目を輝かす。現在は3児の父親として、5歳児、3歳児、1歳児の子育てに忙しい毎日を送る。



▲市消防出初式で「鷹の谷渡り」を披露する小坂さん

威勢の良いかけ声と共に妙技が繰り出され、大きな歓声が起こる。昭和57年、石川県金沢市の「加賀鷹」の指導を受け発足した「恵那トビはしご登り隊」。現在隊長を務める小坂太一さんは、県内有数のトビはしごの伝統を未来につなぐだけでなく、最盛期の勢いを取り戻すべく、日々尽力している。

小坂さんは、自動車ディーラーで働く傍ら、29歳で市消防団岩村分団に加入。その後、町内の祭りでトビはしごの迫力ある演技に魅了され、31歳で同隊に入隊した。初めは高さや痛みに苦戦したが、週3回の練習を重ね、技を身に付けた。「トビはしごは技と動きの順番を間違えなければ落ちることはない。練習を重ね、本番は焦らないことが大切」と笑顔を見せる。

隊員不足の問題に直面する同隊。最盛期は15人の隊員が10基の登り手の座を争っていたが、現在隊員は8人に減少。昨年の出初め式では5基と規模が半減してしまった。

「昔の活気を取り戻したい」と意気込む小坂さんは、市消防本部と今後のあり方について協議を重ねた。令和7年4月、小坂さんは隊長に就任。恵那トビはしご登り隊は独立し、消防団活動に縛られず、トビはしごだけに専念できる体制が新たに整った。

現在はトビはしごの広報に注力する小坂さん。「同隊に所属して、さまざまな年齢や地域の方と関わることでできた。地上6mからの景色や、悲鳴にも似た大きな歓声を浴びる瞬間は、他では味わえない特別な体験」と魅力を語る。

1月10日(土)には「恵那市消防出初式」が開催され、同隊は「玉つぶし」などの他、市独自の特技を披露する。小坂さんは「トビはしごに挑戦したいと思ってもらえたらうれしい。消防団活動の制限がなくなった今、気軽にお試しでもトビはしごに参加してほしい」と話す。当日は、新衣装を身にまとい、火消しの技で恵那の空を舞う。

目立ちたがり屋、大歓迎 市が誇る恵那トビはしご登りを未来に

News & Topics

まちのわだい

市のホットなニュースを紹介！

その他の話題はこちらから▶



市消防防災センターで恵那消防フェスティバルを開催。昨年より250人多い約1,350人が来場し、楽しみながら消防士や消防団の活動を学びました。



放水に挑戦！

11/29 ぼくもわたしも消防団員！消防士！
恵那消防フェスティバル2025

11/1 戦後八十周年
恵那市戦没者追悼式



戦後80年を迎え、恵那文化センターで戦没者追悼式が開催されました。戦没者遺族会の会員や来賓ら213人が、戦争により亡くなった方を悼みました。

11/23 第31回
東野歌舞伎公演



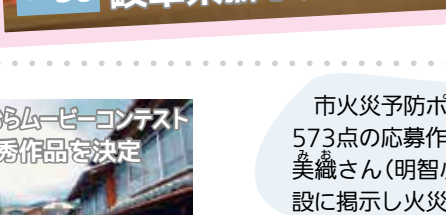
東野小体育館で東野歌舞伎公演が開催されました。訪れた約370人が、保存会や小学校歌舞伎クラブ、有志が演じる4演目を楽しみました。

11/9 陸上自衛隊中部方面
音楽隊コンサート



恵那文化センターで陸上自衛隊中部方面音楽隊がコンサートを開催。マーチの他、ディズニーや美空ひばりメドレーなど、多種多様な音楽で約800人の観客らを魅了しました。

11/30 第24回
岐阜県獅子芝居公演



山岡農村環境改善センターで県獅子芝居公演が行われ、市内からは4団体が出演。熱のこもった演技で、訪れた約260人を惹きつけました。

おめでとうございます！☆
ございます！☆

全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」の水泳自由形25℃とバタフライ25℃で全国優勝した古山沙奈美さん(大井町)が喜びを語りました。



11/10 大会新記録で
2冠獲得を報告

11/15 いわむらムービーコンテスト
最優秀作品を決定



いわむらムビコン上映会・表彰式を開催。審査と投票により田本みどりさん(中津川市)の「IWAMURA DREAMING TRIP」岩村界限夢見旅」が最優秀賞に選ばれました。

市火災予防ポスター展・表彰式を開催。573点の応募作品から市長賞に輝いた櫻井美織さん(明智小6年)の作品を、市内各施設に掲示し火災予防を呼びかけます。



11/22 市火災予防ポスター展
特別賞30点を表彰